

# 授業改善推進プラン<音楽>

## 音楽における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に音楽活動に取り組み、表現能力を高めようとしている児童が多くいる。</li> <li>○歌唱活動では、周りの声を聴いて歌うことのできる児童が増えた。</li> <li>○合奏では、友達と演奏を聴き合っただけで気付いたことを共有することで、互いに演奏技能を高め合っている。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スクールタクト等を活用することで、発言が苦手な児童でも意見を入力でき、共同閲覧を通して友達の考えを知ることで思考力を深めることができた。</li> </ul> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる児童が多くいる。</li> <li>○歌唱では、楽譜を読み取ったり、友達の歌声を聴いたりしながら、自分の歌い方に生かそうとしている。</li> <li>○器楽の活動では、友達の演奏している音を聞きながら、合わせて演奏しようとしている。</li> <li>○音楽づくりでは、班の友達と話し合いながらより良い音楽をつくらうとしている。</li> </ul>	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歌唱活動において、男子が声変わりによって声がうまく出せなかったり、自信がもてないため、十分な息を吸えず声が出せなかったりする児童がいる。</li> <li>●ピアノを習っているかなどの影響で、音楽の知識や鍵盤楽器の技能の差が大きい。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特に高学年は得意不得意や音楽の知識の差が大きいため、鑑賞や音楽づくりで自分の意見を書く中で、考えが進まない児童がいる。</li> </ul> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の考えを発言する児童が特定されてしまい、その他の児童はあまり授業に参加できていない。</li> <li>●コロナ禍の影響からリコーダーの練習時間が十分に取れず、曲を完成させる達成感を味わわせることができていないため、リコーダーに対する意欲が下がっている。</li> </ul>

## <具体的な授業改善策>

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年では、混声3部合唱に挑戦させることで、声変わりの児童へ対応するとともに、中学の合唱へとつなげる。</li> <li>・得意な児童には追加の課題、一斉指導では苦手な児童に合わせた指導を行い、児童の基礎的な技能を高める。</li> </ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考が進まない児童に対しては個別指導を行い、言葉でやり取りをする中で考えを深めていく。</li> </ul> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア活動を多く取り入れた上で活動の人数を徐々に増やしていくことで、友達の前で活動することに慣れさせ、主体的に授業に参加できるようにする。</li> <li>・リコーダーの音色に気を付けることを重視しつつ、新しい曲に挑戦させることで意欲を高め、曲が吹けるようになった達成感を味わえるようにする。</li> </ul>
---